

説明会での主な質問と回答  
補助第143号線（旧江戸川橋梁（仮称））事業概要説明会

日時：令和5年3月19日 10時～16時

場所：江戸川一丁目会館

【工事について】

Q：柴又街道の延伸部に橋ができるのは以前から聞いていた。漸く事業に着手したのか。早く整備して欲しい。

A：令和5年1月に事業認可を取得し、事業に着手しました。早期に整備できるように努めてまいります。

Q：工事の着手時期を知りたい。

A：千葉県側の用地取得状況等を鑑みながら着工時期を調整していきます。着工前には改めてお知らせ等を行う予定です。

Q：千葉県側の用地取得が上手く進まないことで、橋を造る計画がなくなることはあるのか。

A：今回整備する橋梁は、都市計画で定められた道路であり、事業認可を取得して事業に着手したところです。千葉県側の用地取得状況によって、橋を造る計画がなくなることはありません。

Q：工事中の騒音・振動が心配

A：低騒音・低振動の建設機械を使用するなど、騒音・振動の低減に努めてまいります。

Q：工事中に自宅の駐車場の利用に支障が出るのではないかと心配

A：駐車場の利用など、現在のご自宅の利用方法に極力支障が出ないように配慮しながら、検討してまいります。

【橋梁構造等について】

Q：柴又街道を横断する際、橋梁等の構造物によって、歩行者が大きく迂回せざるを得なくなるのではないかと心配

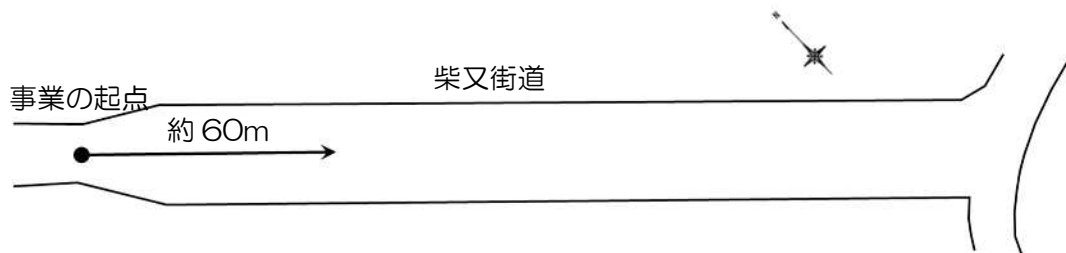
A：柴又街道の横断箇所については、今後、関係機関と協議して決めていきます。極力ご不便をかけないように検討してまいります。

Q：橋梁等の構造物ができた場合、自動車で区道から柴又街道への右折ができなくなるのではないかと心配です。

A：道路設計については、今後、関係機関と協議して決めていきます。自動車で区道から柴又街道への右折はできなくなると想定されますが、堤防沿いの道路を迂回していただくことにより、右折方向へ行くことが可能になります。

Q：橋につながる坂（擁壁部・取付部）はどの辺りから始まるのか。

A：道路設計については、今後、関係機関と協議して決めていきますが、事業の起点から約60m付近から始まることを想定しています。



Q：橋梁等による日影が心配です。

A：橋梁による日影については、これから進める設計にて検討していきます。

なお、類似する橋梁の事例の場合、数時間の日影は生じているものの、補償の対象となるほどの長時間の日影は生じていません。

Q：防音壁や目隠し板は設置されるのか。

A：今後、設計を進めていく中で検討していきます。なお、騒音の環境基準は満たすことを想定しています。

#### 【開通後について】

Q：交通量の増加等による騒音・振動が心配です。

A：将来交通量は約1万2千台／日程度になると予測しており、同程度の交通量の道路での騒音・振動調査結果では、環境基準を満たしています。

Q：橋につながる坂（擁壁部・取付部）の本線部には歩道が設置されない計画となっているが、歩行者はどのように橋に上がっていくのか。

A：道路設計については、今後、関係機関と協議して決めていきますが、堤防付近に階段やスロープ等を設置し、そこから上がっていただくことを想定しています。

Q：自転車は車道を通って橋に上がっていくのか。

A：自転車の通行方法については、今後、関係機関と協議しながら検討を進めてまいります。

Q：橋が架かった後、バスルートになるのか。

A：橋の完成に合わせ、バス事業者が運行ルート等の検討を行うこととなります。